

「子ども・若者の未来応援プラン」の就学前児童数の将来人口推計の見直しについて

【見直しの考え方】
 第二期川崎市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、就学前児童数の推計が必要となっている。第一期川崎市子ども・子育て支援事業計画の見直しを行い策定した「子ども・若者の未来応援プラン」の推計値と実績値を比較したところ、実績値が下回っているため、本市の将来人口推計方法を踏まえて、就学前児童数の推計を見直す。

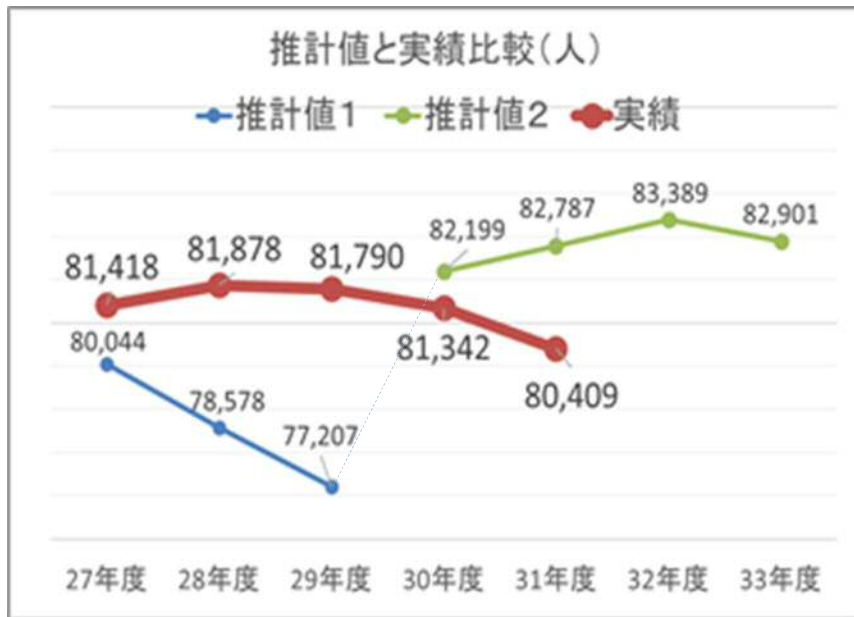
1. プランの推計値と実績値との比較

(1) 「子ども・若者の未来応援プラン」においては、平成 32 年 4 月を就学前児童（0～5 歳児）のピークと見込んでいましたが、実績では平成 28 年 4 月をピークに減少が続いています。

(単位：人)

全市	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度
推計値※	80,044	78,578	77,207	82,199	82,787	83,389	82,901	82,421
実績値	81,418	81,878	81,790	81,342	80,409	-	-	-
差	1,374	3,300	4,583	△857	△2,378	-	-	-

※平成 27～29 年度（グラフ推計値 1）は「子どもの未来応援プラン」、平成 30 年度以降（グラフ推計値 2）は「子ども・若者の未来応援プラン」の推計値。



年齢別実績						区別実績					
	H27	H28	H29	H30	H31		H27	H28	H29	H30	H31
0歳児	14,229	14,412	13,984	13,585	13,059	川崎区	11,185	11,299	11,217	10,986	10,660
1歳児	13,962	14,296	14,273	13,884	13,560	幸区	9,352	9,648	9,809	9,958	9,986
2歳児	13,679	13,564	14,005	13,995	13,648	中原区	14,738	14,988	15,146	15,415	15,459
3歳児	13,338	13,365	13,248	13,683	13,692	高津区	13,047	13,129	13,023	12,917	12,675
4歳児	13,268	13,135	13,225	13,083	13,484	宮前区	13,315	13,268	13,281	13,110	12,866
5歳児	12,942	13,106	13,055	13,112	12,966	多摩区	10,271	10,230	10,120	9,995	10,009
合計	81,418	81,878	81,790	81,342	80,409	麻生区	9,510	9,316	9,194	8,961	8,754
						合計	81,418	81,878	81,790	81,342	80,409

2. 就学前児童数推計の考え方について

【基本的な考え方】

- ① コーホート要因法を用いる。0歳児数については、下記の②～④のとおり算出する。
- ② 推計出生率は健康福祉局庶務課「人口動態調査」に基づき算出する。
- ③ 区別、15歳から49歳までの5歳ごとの年齢階級別に、推計出生率を女性の推計人口に乗じて、推計出生数を算出する。
- ④ 算出した推計出生数に、出生数（各年1月～12月）と0歳児人口（翌年4月1日時点）の実績を比較した増減率を乗じて、推計0歳児人口を算出する。これにより、社会動態及び自然動態の実態を加味するものとする。

3. 就学前児童数について



「平成31年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について」（6月11日子ども・子育て会議資料）より抜粋

全市	31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
推計値	80,409	79,763	78,723	77,684	77,032	76,802	77,142
対前年	▲933	▲646	▲1,040	▲1,039	▲652	▲230	340

(単位：人)

